

## 不思議発見!!

### 京の科学系博物館を探る

#### [ねらい・目的]

このグループは、京都にある様々な科学系博物館をめぐり、その特徴や魅力を広く伝えていくことを目的としています。また、博物館を訪問したり、青少年科学センターで開催される「青少年のための科学の祭典」に参加することを通して「理科好きな子どもたちを増やすには、どうしたらよいか」というテーマを設定し、考えていきます。

#### [博物館紹介]

##### 《京都大学総合博物館》

京大博物館には大きく分けて、3つの分野に関する展示がありました。

「自然史」「文化史」「技術史」、中でも主に自然史に関する展示物が多くありました。

ネズミやたくさんの虫の標本や、カエルや蛇のホルマリン漬け、また館内にある大規模なジオラマでは、熱帯雨林を再現しており身近に自然を感じました。

他にも文化史では、本物の古文書や古地図、技術史からは機械メカニズム教育模型などが展示されていて、様々な分野にわたって深くまで知ることができました。

##### 《京都市動物園》

私たちは今回、京都市動物園に行きました。

この動物園は1903年4月1日に日本で二番目の動物園として開園しました。こちらでは動物の「繁殖」に力を入れています。日本初の成功例としては、ライオン・クロエリハクチョウ・アカシガメなどと、幅広い範囲で成功しています。さらに、2003年では、日本で唯一の三世代飼育にローランドゴリラで成功しています。開園当時は61種238種の動物しか展示されていませんでしたが、100周年をむかえた2003年には175種721点と、最初からは3倍以上にもなっています。

また、園内の施設も増え、最近では、「おとぎの国」という動物と触れ合えるコーナーもできました。餌もあげられて、小さな子どもさんに大人気です。



#### [青少年のための科学の祭典 京都大会 出展]

このコースでは毎年、青少年科学センターで開催される科学の祭典に参加しています。この祭典では様々な学校、企業、施設が、おもしろ実験や理科工作などを行っています。今年もたくさんのブースがありました。科学の祭典では主に小学生、幼稚園生を対象としていますが、中学生の私たちでもとても楽しめます。小さいお子さんを相手にいろいろなことを教えていると私たちも学ぶことができました。二日にわたって多くの人が科学センターを訪れていました。

##### 《京都水族館》

京都水族館では、オオサンショウウオ等、京都に生息する生き物の展示に力を入れています。また、アシカやペンギンの展示もあり、海の生き物がより身近に感じられる施設でもあります。

水族館の展示の目玉である大水槽には、海で捕獲された数々の生き物たちが混泳していて、時々人間(!)も泳いでいます。

水族館の屋外には、古き良き日本の原風景が広がる、京の里山ゾーンがあります。梅小路公園を背景に棚田が広がり、人が農作業することによってあられる生き物達の季節変化が目前で体験できます。人と生き物達のつながりを感じてみてください。

京都水族館では、さまざまな生き物たちに出会うことができます。ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか？

##### 《京都府立植物園》

私たちは、京都府立植物園に行きました。植物園には一年を通して様々な花や木が咲いています。私たちは10月下旬に行ったので、コスモスや紅葉がとてもきれいでした。植物園には、赤ちゃんからご年配の方まで幅広い年齢層の人がいました。また、外国からのお客さんも多く見かけました。

京都府立植物園はとても広く、東京ドーム5~6個分の広さがあります。その中には、日本最大級の温室があります。温室の中にはカカオやバナナバナナの木までありました。温室はコンピュータにより自動環境制御が行われており、天井が自動で開閉するのには驚きました。京都府立植物園は植物園というより、家族みんなで楽しめる、大きな公園のようでした。

##### 《京エコロジーセンター》

京エコロジーセンターは、京阪藤森駅から徒歩5分のところにあります。子供は勿論、大人まで楽しめる施設です。

施設内には、自分の体重とごみの重量を比べるシーソーや、電気を発電して映像を見る自転車などの体験物以外にも、エコを学べる色々な展示品がたくさんあります。エコに関する紙芝居や書籍もたくさんあります。屋上には畑、ビオトープがあり、エコをすることでこのような動植物たちの命を守ることができるのだと感じ取ることができました。是非来てみてください。

##### 《青少年科学センター》

科学センターには、子供から大人まで楽しめる理科展示品がたくさんあります。代表的なものは、しゃべるティラノサウルスや、季節ごとに上映される番組が変わるプラネタリウム、チョウの家などがあります。さらに、わくわく実験教室で、やってみたい実験を見つけて自分でやって見ることもできます。

また、課外授業として、「スジエビ」についての授業も受けさせていただき、様々なことを学ぶことができました。また「科学の祭典」では自分たちよりも小さいお子さんを対象に科学の楽しさを伝えることができました。

